

ウイルスに混合感染したブドウ「巨峰」の果実品質

〔要約〕「巨峰」の果実品質は、ウイルス感染により低下する。特に、ブドウリーフロールウイルス（GLRV）とブドウフレックウイルス（GF1V）に混合感染した「巨峰」の果実は、単独感染に比べて果実の着色が悪く、糖度が低下して酸の減少が遅く、品質が著しく低下する。

担当部署	果樹苗木分場・ウイルス無毒化研究室			連絡先	09437-2-2243
対象作目	果樹	専門項目	病害虫	成果分類	生理生態

〔背景・ねらい〕

本県ブドウの主要品種である「巨峰」は、ウイルス感染により果実の着色が悪くなる等の品質低下が起こると指摘されているが、ウイルスの種類や混合感染による果実の着色や糖、酸濃度等、果実品質への影響については十分解明が行われていない。そこで、ウイルスの種類や混合感染による果実品質への影響を明らかにし、ウイルスフリー苗木の普及促進を図る。

〔成果の内容・特徴〕

- 1．ブドウリーフロールウイルス（GLRV）やブドウフレックウイルス（GF1V）及びブドウファンリーフウイルス（GFV）に感染した「巨峰」の果実は、ウイルスフリー樹に比べ、果実の着色が悪く、糖度が低下して酸の減少が遅く品質が低下する（表1、図1）。
- 2．ウイルス感染による果実品質の低下は、GLRVやGF1Vの単独感染に比べて、GLRVとGF1Vの混合感染で著しくなる（表1、図1）。
- 3．果実の1粒重は、ウイルス感染樹とウイルスフリー樹では一定の傾向は認められない（図2）。

〔成果の活用面・留意点〕

- 1．ウイルスフリー苗木の普及推進のための資料として活用できる。
- 2．自根樹は、フィロキセラ発生があるので接ぎ木栽培を行う。

[具体的データ]

表1 ウイルスの種類及び混合感染と果実品質 (8月下旬)

ウイルスの種類	糖度	酸度	果皮色
GLRV + GFIV	18.0	0.50	6.0
GLRV	20.0	0.46	7.1
GFIV	20.4	0.50	7.0
GFV	19.3	0.45	7.4
ウイルスフリー	22.8	0.33	10.2

注) 1. 巨峰7年生、5BB台木
2. 果皮色: カラーチャート

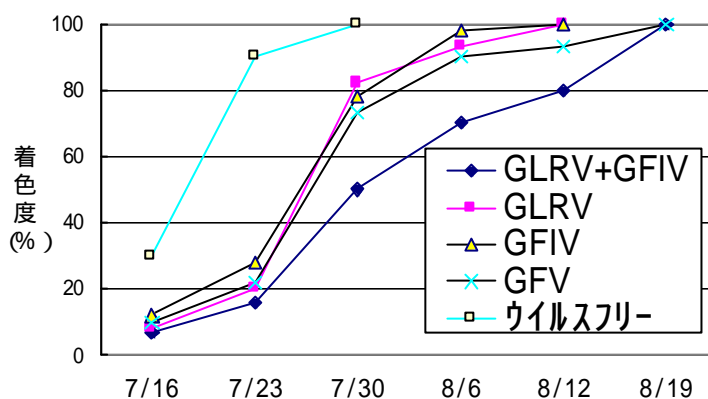


図1 ウイルスの種類と果実の着色(平成9年)

注) 着色度は、1房における着色粒の割合

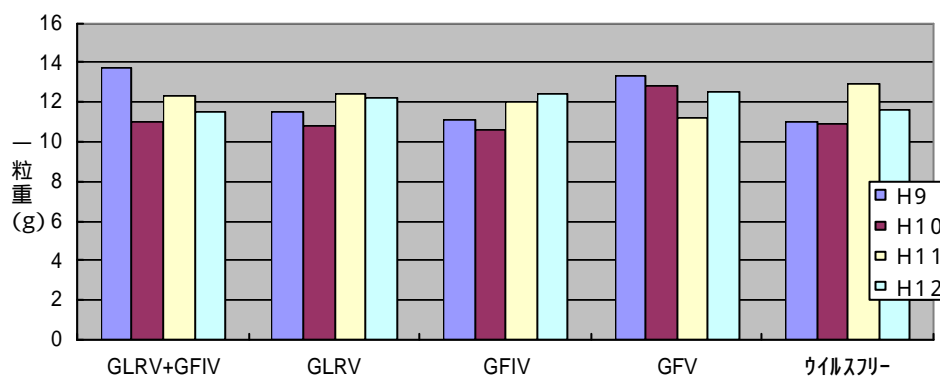


図2 ウイルスの種類と一粒重の年次較差

[その他]

研究課題名: ブドウのウイルスが品種「巨峰」の樹体に及ぼす影響

予算区分: 経常

研究期間: 平成13度(平成9~13年)

研究担当者: 草野成夫、下村克己、井樋昭宏、野口保弘、

